



写真：第101回春の安行花植木まつり

安里だより

2026



01. コラム “安行ものがたり”

「受け継がれてきた、安行のみどり」

インタビュー：小林 進 氏

02. 【緑と暮らしの豆知識】

植木の移植



コラム ”安行ものがたり”
「受け継がれてきた、安行のみどり」



「最盛期には、植木の競りで予想の10倍の値段がついたこともあった。まるでマグロの競りみたいに、威勢のいい声が飛び交っていたよ」

そう語るのは、安行で植木屋を営んで70年になる小林進さん。植木屋の傍ら、地域のみどりを守る活動にも力を入れてきました。今回はそんな小林さんに、植木屋としての半生と、未来への想いをお聞きしました。

先輩から学んだ安行の技

私が植木屋をはじめたのは、安行が見渡す限りの田んぼ畑だった、昭和33年頃です。中学を卒業した私は、農家として食料を作るより植木の方がお金になると考え、畑の隅っこで苗木を育てはじめました。その頃の日本は戦後の復興が進み、食べ物が余るようになっていたんですね。

当時はこの辺りに植木職人がたくさんいたので、先輩の仕事を手伝いながら見よう見まねで仕事を覚えました。庭を見れば誰の仕事かわかるほど、植木には手筋が出ます。剪定の仕方、庭石の据え方も、職人によってそれぞれ。

「誰か一人に弟子入りしたら、その人の技術しかわからない。」そう考えた私は色々な人のところへ行って、自分の技を磨いていきました。

全国からお客がやってきた最盛期

昭和48年に、競り市、並びに流通の拠点として、川口市営安行植物取引・造園センターが設立されました。それまでは道路脇に植木を並べて販売していましたが、次第に道路では収まらなくなっていました。

取引所ができると全国からお客さんが集まり、毎月のように競り市が開かれました。競りは、その瞬間にその人がどれだけお金を出すかで値段が決まる、時価みたいなもの。こちらが想像もしない値段がついたこともあり、おもしろかったですよ。

今ではインターネットの発達で全国のものが手に入る時代になりましたが、当時は安行に來ないと手に入らない植物がたくさんありました。安行は、地理的に日本のほぼ中央にあるため、寒い地方の木も、温かい地方の木も育てることができる。そんなことも、「安行では、ない木はない」と、お客さんを惹き付けました。

未来の子供達に、みどりを

川口は住宅地として発展したことで農地の宅地化が進み、まちのみどりは減少傾向にあります。それでも地域住民が協力して、未来の子供達にみどりを残していこうと活動を続けてきました。

代表的な活動が、安行中学校の東側の斜面林の整備です。荒れ放題だった林を毎月有志のメンバーで手入れをし、子供たちが遊べる場所に蘇らせました。過去にはホタルの幼虫を水路に放流したり、川口の天然記念物のイチリンソウの保全にも力を入れています。

安行の名が広まったのは、大火事で焼け野原になった江戸に、安行の植木職人が花木を届けたことがきっかけでした。私が先輩から教わった技術も、遡れば先人が脈々と受け継いできたもの。これからもこの活動を続け、安行のみどりを未来に繋げたいです。

＊安行みどりのまちづくり協議会では、

仲間を募集中＊

毎月一回、第二日曜日に斜面林の保全活動をしています。草むしりやゴミ拾いなど、子供からお年寄りまで、それぞれができることをマイペースに楽しくやっています。ご興味ある方は是非ご連絡ください。

安行みどりのまちづくり協議会 会長 小林進

電話：048-296-2709（事務局：加藤）

【緑と暮らしの豆知識】 植木の移植



「庭のレイアウトを変えたい、引越し先に大切な記念樹を枯らさずに植替えたい…」このようなことがよくあると思います。胸高周が5～6cmを超えず樹高2.5m位迄の小低木移植であれば、特殊な樹種を除きご自分でも十分可能です。

ツツジ類、ツバキ、アジサイ、ウメ、サルスベリ等、根が浅く発根再生力のある樹種ほど活着がよく、チャレンジしてみませんか。ケガをせぬよう注意して行って下さい。



根切り

「作業」

①根切り

移植の1年程前の春先、株元周囲を深堀スコップ等で深く根切りする。これにより細根(吸収根)の発根を促す。この細根が太い支持根より重要となります。同時に枝葉は幾らか切詰め蒸散防止を図り、根の負担を軽減すること。(樹姿が多少犠牲になっても活着最優先)

根を切ったら蒸散防止
するため枝葉も切る

蒸散

動かないように支柱
をする

太い支持根

かん水を十分に

吸水 →
細根

根切りを行い細根の発生を促す

②養生

樹周囲地表部は敷藁等をして、土の乾燥防止を図り養生する。土が乾くときは適時灌水を行う。



移殖

③ 移殖

およそ 1 年経過し細根発生活着後の春先又は秋口(落葉樹は落葉後)、堀上げて当該樹を移植する。

なお中高木以上は根回し・根巻き・重機による運搬等、大掛かりな作業を伴うので、川口市又は埼玉県造園業協会等に照会する等して植木・造園業者に依頼して下さい。